

# 「換気お知らせキット」及び「熱中症予防キット」導入事例

－ つくば市ふれあいプラザ －

2020年7月



常陸興業株式会社



Low Power Wide Area Network

- 導入施設：つくば市ふれあいプラザ（指定管理者運営施設）
- 目的：新型コロナウイルス対策としての「適切な換気実施」また、「暑さ指数」の測定・アラートに基づいた「熱中症の事前回避」を実施する
- 実施場所：茨城県つくば市／つくば市ふれあいプラザ
- 導入日：2020年6月16日～導入継続中
- 実施内容：施設内「軽運動室」と「多目的ホール」へそれぞれ、「温湿度センサー」と「二酸化炭素センサー」を設置し、測定情報をアプリで監視し、閾値オーバー時のアラートをメールで受信する



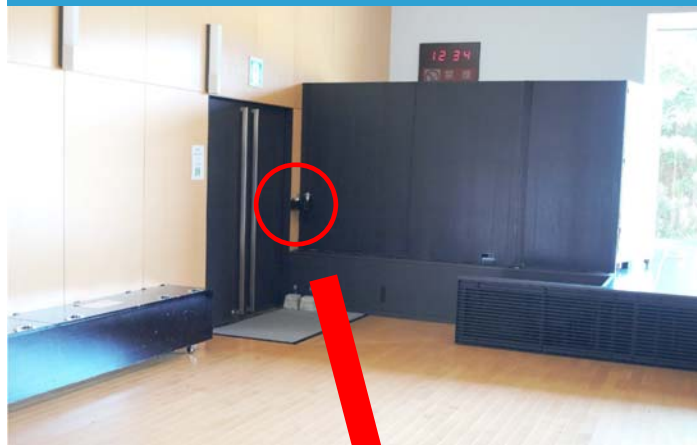
# 「ZETA」 屋内基地局 1 台、 温湿度センサー・二酸化炭素センサー各 2 台を設置

基地局 @ 1F/事務室



屋内基地局

センサー @ 1F/多目的ホール



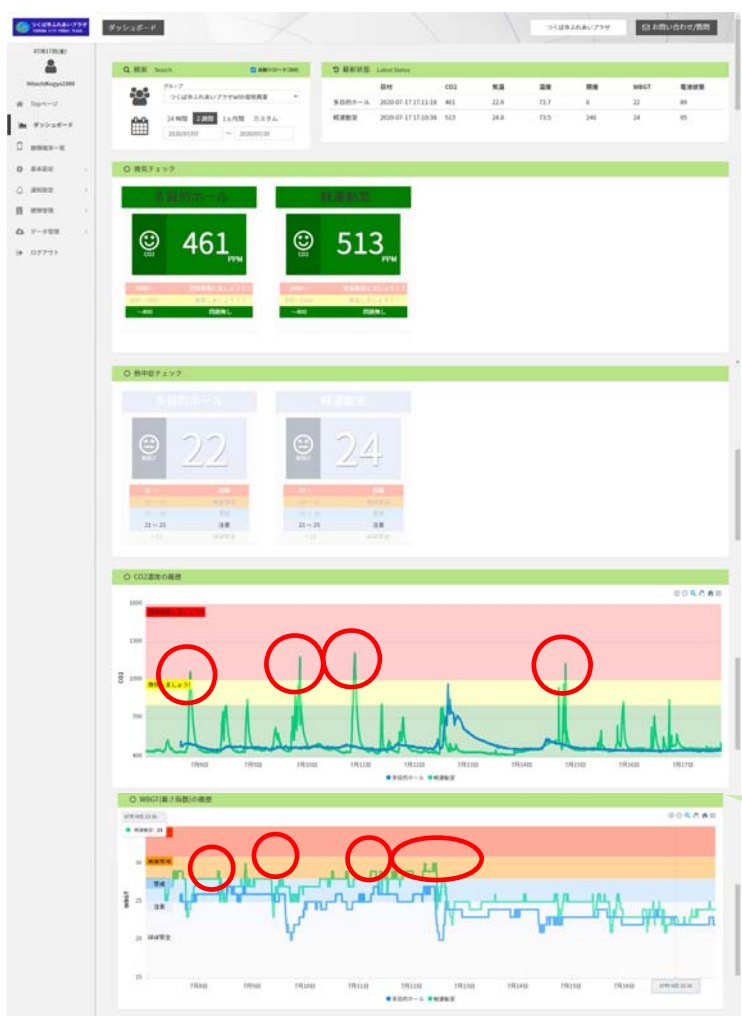
温湿度センサー

センサー @ 2F/軽運動室



二酸化炭素センサー

計測データ閲覧画面 (PC)



換気チェック

熱中症チェック

CO2濃度の履歴

WBGT(暑さ指数)の履歴

## ふれあいプラザ職員による 利用者への注意喚起を促す「声かけ」を実施

- **換気チェック**  
「多目的ホール」「軽運動室」共に **二酸化炭素濃度が上昇** (1000ppm以上のお値を計測) した際に、ふれあいプラザ職員による「声かけ」により、窓を開けるなどの換気を行った。  
➔ **二酸化炭素濃度を指標とした換気を実現**
- **熱中症チェック**  
「軽運動室」にて **暑さ指数が「嚴重注意」に及ぶ値を頻繁に測定** した際に、ふれあいプラザ職員による「声かけ」により、休息をとるなどの予防を行った。  
➔ **暑さ指数を指標とした熱中症予防を実現**





「換気をしなければならない3密対策と、換気によって熱中症の心配が増えるという矛盾に、どう対処すべきか悩んでいたが、解決できた。」

ふれあいプラザ 五十嵐館長

「換気や休憩を利用者に声かけする時に、見える化によって根拠を示せるので、クレーム防止にもなる。」



ふれあいプラザ設備担当 坂入主任

### まとめ・今後の課題

- 測定値が閾値を超えた際のアラートメールにより、タイムリーに利用者へ注意喚起を促すことができ、長時間のイベントなどでは、従前の休憩回数を見直すきっかけにつながった。
- 「二酸化炭素濃度」と「暑さ指数」の併用により、過剰な換気による冷暖房効果の低下防止に有効であることが分かった。
- 利用者へもリアルタイムでのデータ確認 = 画面による可視化が実現できると、更なる利用者へのサービスにつながると思われる。

ZETAアライアンス  
キーワード  
「つながる」